



でんし かんぼう どうらい 電視観望の時代到来

これまでの天体観望会は、望遠鏡で天体を見たり、双眼鏡で星を見たりすることが一般的でした。ところが、昨年、世に出た eVscope という名のフランス製の望遠鏡は、観望会の内容を一変するほど革新的な望遠鏡です。ギャラクシティでも早速入手して「星を見る会」に投入しています。

eVscope には普通の望遠鏡のような覗き口はありません。操作はスマートフォンやタブレット端末を通して行い、天体の姿もモニターに表示されます。画像データとして保存することもできます。

eVscope はいくつかの優れた機能を持っています。望遠鏡の視野に見える星を自動で判別して、望遠鏡がどの方向を向いているか自動的に認識してくれます。その上で、スマホから見たい天体を指定すると、天体を探し、自動追尾モードに入ります。内蔵の高感度のカメラで、目的の天体の淡い光を捉えます。さらにその淡い光を蓄積してコントラストを高めてくれます。天体導入から、光を蓄積するまでの作業の様子がモニターに映し出されますので、望遠鏡が何をしているのか良く分かります。1～2分で全ての工程が完了します。

風に弱いとか、覗いて見ることができないとか弱点もありますが、今後の「星を見る会」での活躍が期待されます。 2022年8月23日記 (解説員：田部 一志)



足立区のような都下の空でも eVscope ではこのように見ることができます。こぎつね座の M27 (アレイ星雲)。